

## ふるさと教育 取組事例

中核となる活動の様子 (上記(1)の活動から、1つを選び記入すること)

学校名	江津市立郷田小学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合的な学習	年長さんと仲良くなろう	・地域の保育所
ねらい		・保育所への訪問を通し、園児と交流する。園児に対して、自分たちが できることを考え、実施することで、自己有用感を高める。	
<p><b>1. 取組概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児について知り、園児のよりよい対応について調べる。</li> <li>・保育園へ訪問し、交流する。</li> <li>・交流して思ったことや考えたことを基にして、次の交流の方法を考える。</li> <li>・園児が喜ぶ遊びを考えて、遊び道具を製作し交流する。</li> <li>・1回目の遊びを振り返り、反省点をいかして2回目の交流を行う。</li> <li>・相手意識、目的意識をしっかりと持ち、「園児に楽しんでもらう活動」を行う。</li> <li>・活動を通して、感じたことや学んだことを交流し合う。</li> </ul> <p><b>2. ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園児との活動をとおして成長を具体的にイメージすることができる。児童においては年下の子とかかわることで思いやりの気持ちを育てることが出来る。</li> <li>・自己有用感を高めることで、学習への意欲が高まったり、保育士へのあこがれの気持ちをもったりなどキャリア教育にもつながる。</li> <li>・今後顔見知りになり、地域の子どもの自然なかかわりが生まれると、保護者を通して大人も地域に目が向きそのことが地域力となり、地域全体が子どもの育つフィールドだという意識を共有することにつながる。</li> </ul> <p><b>3. 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔なじみになった園児や、地域の園児と仲良くなり、交流を続けようとしていた。名前を覚えて、入学してくる園児を心待ちにしている。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感が高まった。人から頼られる、自分が考えた遊びを楽しんでもらえる経験を通して、誇りをもった。1回目より2回目というように回を重ねるごとに相手意識をしっかりと持ち、目的を達成しようとしていた。</li> </ul> <p><b>4. 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達自身の興味関心から出た課題や、子ども達が本当に学習意欲をもてる課題を設定し、追求していく学習活動を今後も継続して展開する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止も考慮しながら、遊びの工夫や回数 of 工夫を行う。</li> </ul>			

保育園との交流の写真

